

囲碁、防災など多彩に

「みらくルTV放送局」開局

新型コロナウイルスの感染拡大で、人と人との触れ合いが制限される中、インターネットを使ったウェブ会議でつながりを確保する「みらくルTV放送局」が開局した。囲碁、障害福祉、防災問題、音楽演奏など多彩な番組を放送している。代表の木谷正道さん（72）＝



ウェブ会議を使った「みらくルTV」で開局あいさつをする木谷正道さん（上段中央）

平塚市＝は「厳しい事態の中で希望を持つと、諸分野で活躍する方々が力を合わせた。皆のつながりで危機を乗り越えたい」と話している。

東日本大震災の復興支援にあたってきた「囲碁のまち大船渡実行委員会」委員長の木谷さんが知人らに呼び掛けた。浅野史郎・神奈川県大教授、中林一樹・東京都立大名誉教授、日本棋院の岡田結美子六段、古謝由美・日本高次脳機能障害友の会理事長、全盲のバイオリニスト白井崇陽さんら多彩な分野の人が出演を引き受けた。

TVは午前8時から午後10時まで。朝は、家にこもっている人向けに体操でスタート。ゼミ形式の障害福祉講座から、各種囲碁講座、耐震補強や首都直下地震に関する講座、手話やフランス語の講座、オンライン句

会、和太鼓やサックス、バンドの演奏、地獄谷温泉後楽館から中継など、多彩な番組をそろえた。

生放送のウェブ会議（Z

OOM）がメインで、録画した内容をYouTube（ユーチューブ）などで配信もする。番組表や講師紹介はウェブサイト「希望の船」（<http://kokoroigossie/>）に掲載されている。問い合わせは、メールで木谷さん（koenado@googlegroups.com）に。（熊谷 和夫）